

新型コロナウイルスのせいで、短くなった夏休み。ぼくは何かひとつ、ちゃんとした目標を立てようと、下水道ポスターに取り組みました。その結果が、金賞という思いがけない素晴らしい賞に結び付き、とてもうれしく思います。

海が大好きで、ぼくを海人と名付けたママと一緒に、ぼくは小さいころから南伊豆の海で、魚と一緒に泳いでいました。水族館も大好きで、家でクラゲを飼い始めたことが、ぼくが下水道に興味を持ったきっかけです。

クラゲをとりに海へ行くと、街の近くの海や河口近くでも、いろんな魚やクラゲを見ることがができます。それは、みんなが使った汚れた水を下水道がキレイにしてから川や海に流してくれるおかげです。

クラゲは体の90%が水分で、キレイな水でないとい死んでしまいます。ぼくたち人間の体も60%が水分です。下水道を流れる水は、めぐりめぐってぼくたちの体を作っています。

去年は、水が下水道を通ってめぐるイメージを描いたポスターで銅賞をいただきました。今年には、身近な川の生き物をテーマにして、下水道が水をキレイにしてくれることへの感謝の気持ちを伝えようとがんばりました。それぞれの生き物を生き活きと楽しそうに表現しようとして、何度も描き直し、下絵だけに3日もかかりました。下絵が上手にできたので、絵の具でぬるのがこわくなり、色えんぴつでぬりました。こく、はっきりとぬるのに、3時間かかった色もありました。でも、絵の具じゃないから入賞は無理だと思っていたので、本当にうれしかったです。

本日は本当にありがとうございました。

受賞者代表

笛吹市立春日居小学校

五年 中村 海人